



HikifuneReport

今、バレルめっきが変わります

ヒキフネのバレルめっきが変わります。

日本で小物の製品をラック掛けせずに、バレルに入れてめっきする方法が実用化したのは1900年頃、発電機による直流電源が利用できるようになってからと言われております。

わが国の高度経済成長にともなう生産増を担って大型の多連装バレル装置が、昭和30年代後半から普及してきました。

当初は金属品の装飾と防食に利用されていましたが、現在では金属以外の素材や電子部品等の機能的な表面処理においても無くてはならない技術へと発展を遂げ『量から精度へ』の要求が強まっております。

また、PL法の施行に伴い**金属アレルギー**や衣類の縫製に伴う**検針器対応**でNiめっきが使えない製品が増えております。

特に金属アレルギーは人体にある蛋白質と結合した結果、皮膚に炎症を起こしたり種々の障害を発生することにつながります。

最近の報告では、鉄・金・プラチナと様々な金属アレルギーの例が取り沙汰されています。北欧では、ピアス・イヤリング・ネックレス・時計等皮膚に触れるものは、ニッケルめっきの使用を禁止されています。

バレルめっきの特長については

1. 装飾めっきではより安価に、大量に加工が可能です。
2. 防食用途は、酸化を防ぎ錆止めをします。(金属を腐食から守る事を防食といい、錆の発生を防ぐことを防錆といいます)
3. 機能めっき分野は、素材にない機能を持たせます。皮膜そのものの特徴を利用して素材にない機能や性能を与え付加価値をつけます。

これから先のめっきニーズにおいて最も注目されているものです。

(例) 機能目的・・・耐摩耗性・表面硬化・電気伝導性・電気・磁気特性・光特性
熱特性・潤滑性・半田付け性・ボンディング性等が上げられます。

【当社では】

上記用途めっき加工の他、金属アレルギー、検針器対応のニッケル代替めっきが可能です。色調もニッケルより白く、銀に近い優しみのある色調です。(ユリジュームとご指定ください)

ユリジュームは現在当社でもラックめっきでは扱っておりますが、この度改良し、より白くまた、**バレルでの生産も可能**にいたしました。ただ今**サンプル**を準備しております。ご希望の方は当社営業担当者までご連絡ください。

尚、当社では、通常の水平バレルはもちろん傾斜バレル、振動バレル、ハンマーバレル等の特殊なバレルを準備致しております。

裏へ続く

あらゆる短所を改善し製品の使用目的や素材の形状に応じて、バレルの種類を選択し加工致します。

又、変形しやすい製品や絡みやすい製品については、バレルの種類だけでなく数十種類のダミーの選択を行うことにより最適な条件のもとでめっきを行います。

多種多様の製品へのバレルめっきを経験することで、当社独自の加工技術も向上し他社では出来ない形状の物も対応出来るようになりました。

【当社バレルめっきの特色をまとめると・・・】

銀めっき上の金めっき、また金めっき・銀めっきの（厚付け・薄付け）が可能です。

難しいステンレス材の板バネやシールドケース、ベリリウム銅・WP系の極小コイルバネの生産が可能です。

亜鉛ダイカスト・ベリック・ALダイカストなどあらゆる素材に、金・銀・Niを含め無電解ニッケルめっき・潤滑めっきが可能です。

高級装飾部品から、電子部品業界全般のめっきが可能です。

ユリジウム（ニッケルフリー）のバレルめっきははじめました。

3価クロムめっきのバレル加工の準備をしております。

変形、重なり等の不良を最小限に出来るめっき方法をご提案します。

不良でお困りの場合や、価格で断念された製品等がありましたら、是非一度ご相談ください。



ユリジウム（バレルめっき）



変形、重なりやすい製品の加工例

御社の関連部署へ是非ご回覧くださいますようお願い申し上げます。

【連絡先】

第一工場営業部：目良・笹島

TEL：03-3696-1981

FAX：03-3696-4511

F P 部：国井・上田

TEL：同上

FAX：03-3696-1973

技術部：井坂・萩原

TEL：同上

FAX：03-3692-9178

ヒキフネ技研：宇田川・中山

TEL：03-3695-5787

FAX：03-3692-6152

HP アドレス：<http://www.hikifune.com>